

参加校協働授業「徳島の魅力、徳島で働く」の実施について

2017年8月21日～24日、COCプラス事業の一環として、参加校で連携して開催する共同授業「徳島の魅力、徳島で働く」を実施し、「徳島県の将来ビジョン」と「徳島県で働く・暮らす」の2つの観点を学生に伝えることを目的に、地域の様々な分野で活躍する企業やNPO、行政などのリーダーを講師に迎えて、地域社会の将来ビジョンを、さらに地元で活躍する若手OB、OGから自らのワークライフバランスや仕事のやりがいを語っていただいた。なお、本授業は、複数の参加校の学生が正課の授業として導入するため、メイン会場での講義を映像でサテライト会場に配信し、参加校それぞれのキャンパスで受講できる形式で実施した。

1) 授業日時

2017年8月21日～24日

2) 参加人数

日時	徳島大学	四国大学	徳島文理大学	徳島工業 短期大学	阿南工業高等 専門学校	その他(高校 生・一般等)	日時別合計
21日	58	27	10	—	8	17	120
22日午前	56	26	6	—	8	13	109
22日午後	58	28	5	—	8	8	107
23日午前	55	27	2	10	8	6	108
23日午後	57	26	10	—	8	14	115
24日午前	58	28	3	—	8	6	103
24日午後	57	28	6	—	8	0	99
合計	399	190	42	10	56	64	761

3) 実施内容

8月21日(月) [メイン会場：徳島大学共通講義棟6階創成スタジオ]

時間	分類	登壇者
10:00～11:00	導入「授業の構成と講演テーマの紹介」	推進コーディネーター 川崎修良
11:15～12:30	特別講演「徳島県の将来ビジョン」	徳島県知事 飯泉嘉門氏
13:30～14:50	講演①「徳島県の強みと成長産業」	徳島経済研究所専務理事 田村耕一氏
15:00～16:00	パネルディスカッション① 「徳島の山海エリアで働く」	海陽町役場産業観光課 坂東裕司 In Between Blues 永原レキ (株)ハレとケデザイン舎 青木陽平 司会：三好市地域おこし協力隊 井上琢斗
16:00～16:30	グループワーク	推進コーディネーター 川崎修良

8月22日(火) [メイン会場：四国大学、徳島文理大学]

時間	分類	登壇者
9:30～10:30	講演②「地域づくりと観光産業」	(株)あわえ代表取締役 吉田元晴氏
10:30～10:40	教員コメント	四国大学長 松重和美氏
10:40～10:50	質疑応答	推進コーディネーター 川崎修良
11:00～12:00	パネルディスカッション② 「徳島の地域づくり、観光分野で働く」	(株)高鉾建設(酒販事業部) 山下和美 ケーブルテレビあなん 長谷川加奈 上勝町地域おこし協力隊 阿部真哉 司会：四国大学学長 松重和美
12:00～12:30	グループワーク	推進コーディネーター 川崎修良
13:30～14:30	講演③「地域医療と福祉の仕事」	とくしま産業振興機構プロジェクトディレクター 濱尾重忠
14:30～14:40	教員コメント	徳島大学理事 金山博臣
14:40～14:50	質疑応答	推進コーディネーター 川崎修良
15:00～16:00	パネルディスカッション③ 「徳島の地域医療・福祉分野で働く」	稲次整形外科看護師 瀬尾千恵 (有)サンコーファーマシー薬剤師 宮崎恭治 北島町役場地域包括支援センター(ソーシャルワーカー) 黒田なつみ 司会：三好市地域おこし協力隊 井上琢斗
16:00～16:30	グループワーク	推進コーディネーター 川崎修良

8月23日(水) [メイン会場：徳島大学]

時間	分類	登壇者
9:30～10:30	講演④「次世代技術関連産業の展望」	藤崎電機(株)代表取締役 藤崎耕治
10:30～10:40	教員コメント	徳島大学教授 右手
10:40～10:50	質疑応答	推進コーディネーター 川崎修良
11:00～12:00	パネルディスカッション④ 「徳島の次世代技術分野で働く」	レーザシステム(株) 尾崎貴弥 ジャパンコミュニケーション徳島 山中真里奈 独立行政法人 自動車総合機構 四国検査部徳島事務所 坂 裕樹 徳島トヨペット株式会社 鳴門店 山下祥子 司会：三好市地域おこし協力隊 井上琢斗
12:00～12:30	グループワーク	推進コーディネーター 川崎修良
13:30～14:30	記録映像「ICTと地域産業」	NPO法人グリーンバレー理事長 大南信也
14:40～15:00	質疑応答	NPO法人グリーンバレー理事長 大南信也 推進コーディネーター 川崎克寛
15:00～16:00	パネルディスカッション⑤ 「サテライトオフィスで働く」	(株)フードハブ・プロジェクト農業長 白桃薫 Kamiyama Makerspace 代表 あべさやか

		(株)ダंकソフト 神山ブリッジ キャプテン 本橋大輔 司会：推進コーディネーター 川崎克寛
16:00～16:30	グループワーク	推進コーディネーター 川崎修良

8月24日(木) [メイン会場：徳島大学]

時間	分類	登壇者
9:30～10:30	講演⑥「6次産業化分野の取り組みと農 林水産業の展望」	(有) 榎山農園 専務取締役 榎山直樹
10:30～10:40	教員コメント	徳島大学教授 玉真之介
10:40～10:50	質疑応答	推進コーディネーター 川崎修良
11:00～12:00	パネルディスカッション⑥ 「徳島の6次産業化分野で働く」	三協商事(株) 和崎美穂 (有) 榎山農園 瀧川匡人 美波町産業振興課 小林大起 司会：三好市地域おこし協力隊 井上琢斗
12:00～12:30	グループワーク	推進コーディネーター 川崎修良
13:30～14:30	授業総括	推進コーディネーター 川崎修良
14:30～15:30	グループワーク	推進コーディネーター 川崎修良

4) 授業構成

2コマ連続の講義を基本とし、COC+事業で設定した徳島の未来を創造する産業分野をテーマに、前半に地域リーダーの講演、後半に参加校OB,OGが登壇するパネルディスカッションを実施した。講演の後には、参加校の教員がコメントを行った。また、教員コメントの間に会場からの質問を取りまとめ、講演者からの回答の時間を設けた。講義の終わりにはグループワークを課し、各テーマについて小レポートを提出させた。(詳細については文末のシラバス(参考①)を参照)

(テーマ別講義(2コマ分180分)の時間配分)

- ① 地域リーダーによる講義(60分)
- ② 教員からのコメント(10分)[コメント中に質問用紙を回収して質問を取りまとめる]
- ③ 質疑応答(20分)
- ④ 休憩(10分)
- ⑤ 参加校OB,OGが登壇するパネルディスカッション(60分)
- ⑥ グループワーク(20分)

5) グループワークの内容と成績評価の方法

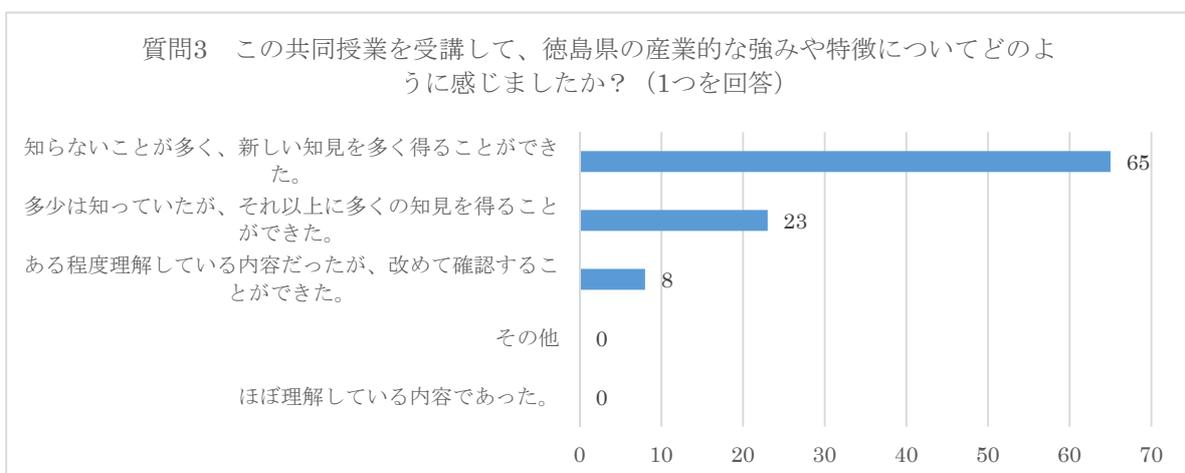
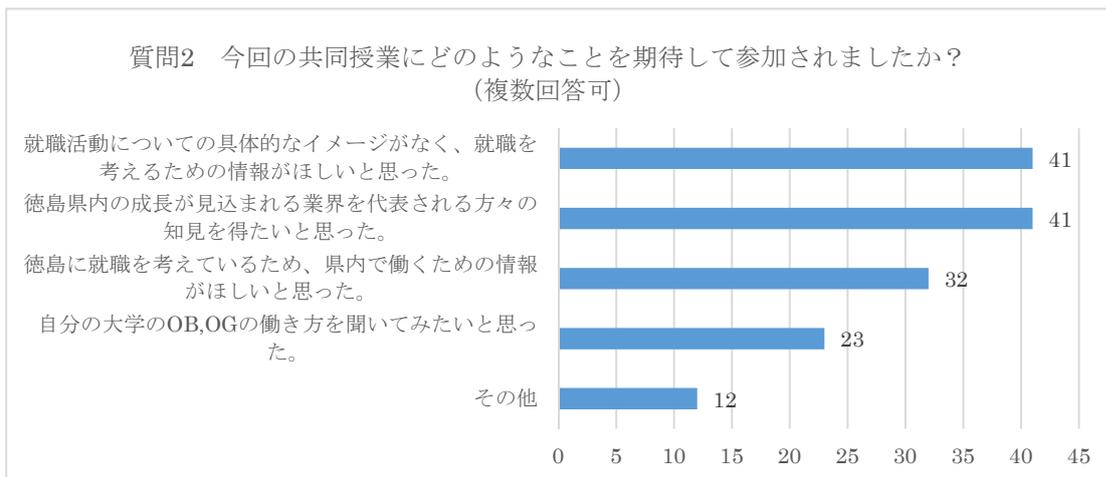
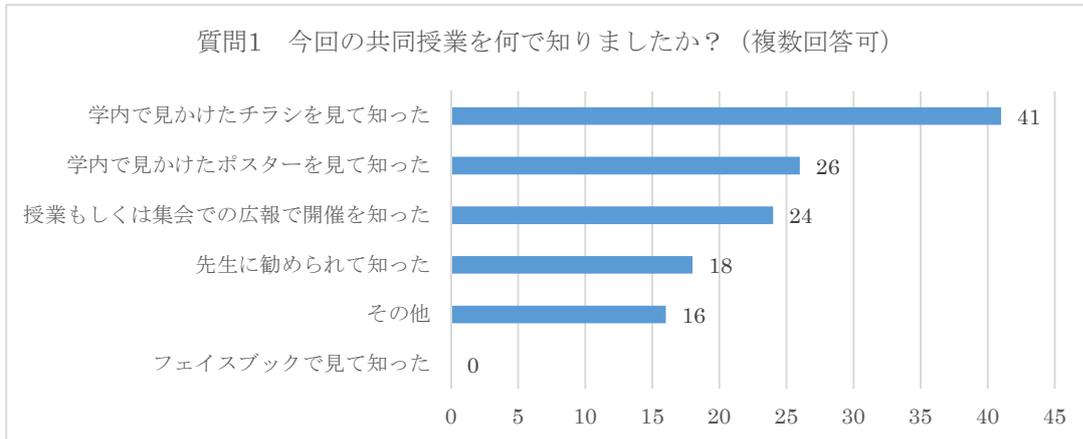
グループワークでは、講演及びパネルディスカッションの内容を元に、授業の到達目標に沿った小レポートを作成し、4～5名程度のグループに分かれて発表し、発表内容を受けてさらにレポートを作成する。成績は講義の終了時のグループワーク時に作成した小レポートで評価する。複数の高等教育機関において成績評価が必要となる講義のため、成績評価の方法をルーブリックの形で明確にして共有する。

6) 講義の配信方法

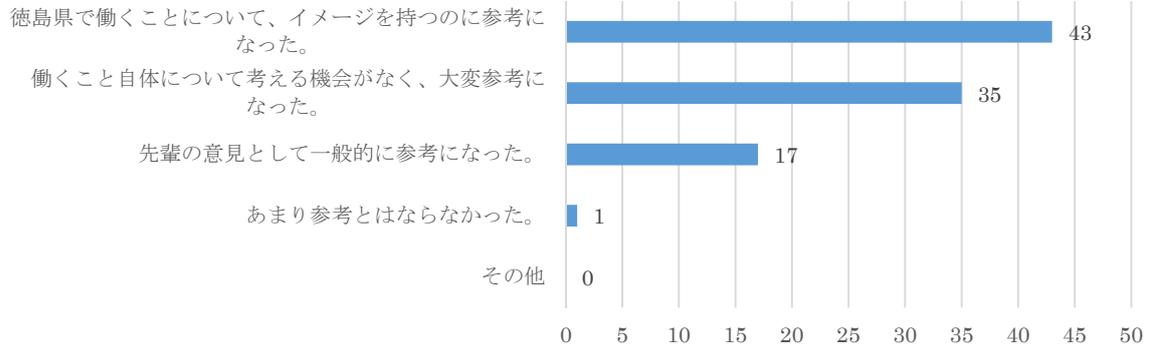
映像配信ではトラブルが生じた場合に備え、テレビ会議システム及び Web 上での動画共有サービスの二重の経路で講義を配信体制により、対応した。

7) アンケート結果

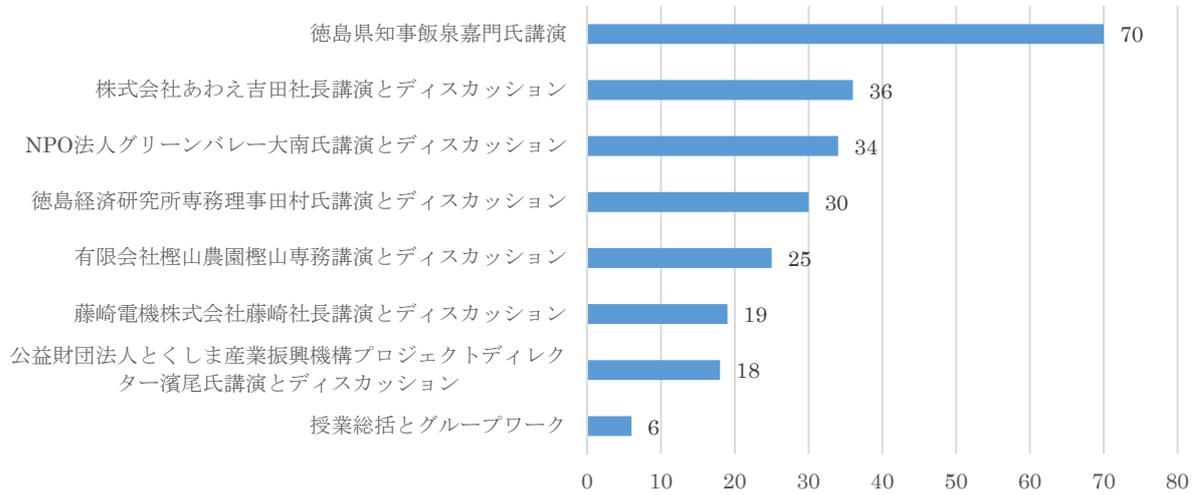
① 履修登録者



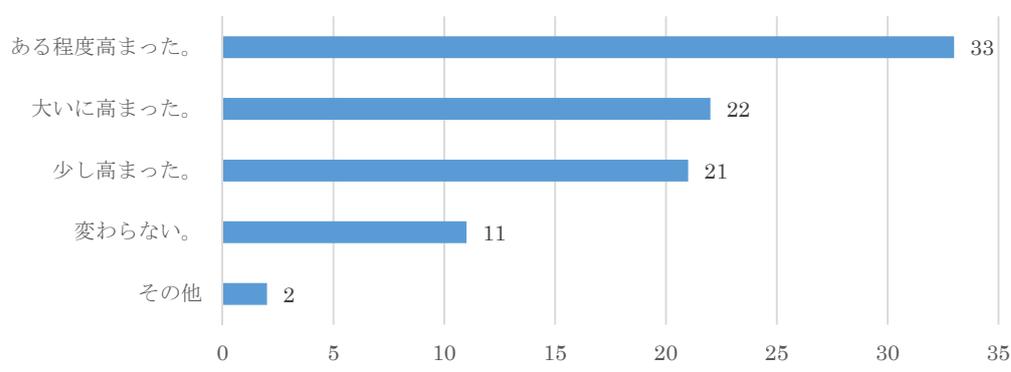
質問4 この共同授業を受講して、徳島県で働くOB,OGの話は将来を考える上で参考になりましたか？（1つを回答）



質問5 今回の授業について、特に満足度が高い授業は何ですか。（複数回答可）



質問6 この共同授業の受講前と比較して、徳島県で働くことへの関心は高まりましたか？（1つを選択）



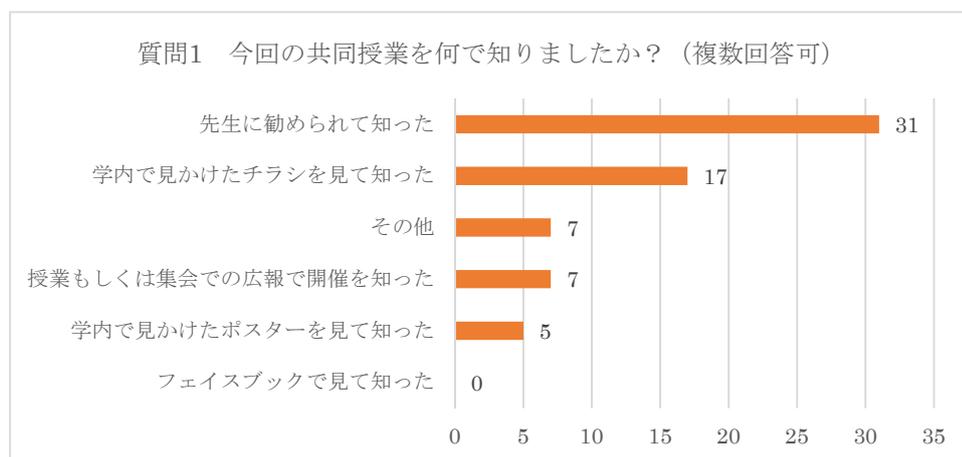
質問7 この共同授業について特によかったところを記述してください。(抜粋)

1	具体的に徳島にはどんな会社があるのか、どんな町があって、そこで働く人がどんな仕事をしているのかがよく分かる授業でした。徳島で働くことがどういうことかがよく分かりました。	徳島大・総合科学部・1年
2	様々な業界の方々の話を聞くことができ、将来の職のイメージがついてきたこと。	徳島大・生物資源産業学部・1年
3	興味のある分野だけでなく、今まであまり関心のなかった分野についても知ることができた良い機会になった。また実際に徳島で働く方々のお話を聴くことによって、徳島で働くことを具体的に想像することができ、とても魅力的なものだと感じた。	徳島大・生物資源産業学部・1年
4	お金を得るだけの働き方ではなく、お金を得つつ地域に貢献し自分も楽しむという働き方があると知れて良かった。	徳島大・理工学部・1年
5	この授業を受けるまでは就職というものに対して漠然としたイメージしかなかったが、先輩たちの話を聞いて、このままでは駄目だと思ったし、徳島のいいところもより知れたのでそこがよかったと思う。	徳島大・理工学部・1年
6	パネルディスカッションのおかげで、同じ質問に対して違う分野のOB・OGたちの意見がきけたので比較ができた。	徳島大・理工学部・2年
7	徳島県の良さ、悪さ、両方も側面から見えるものを多く知られたところ。徳島で働く魅力を具体的に知れたところ。また、都市の方で働かれていた人の都市と地方での働き方を比べたお話は、都市に出たいと考えていた自分にとって、大変参考になるお話だった。	四国大・文学部・2年
8	徳島での魅力と現状を知る機会でも何事にも挑戦するのがとても大事だと思ったのでその点が特に良かった。	四国大・経営情報学部・4年
9	初日に他の大学の学生とのグループワークができて大学は違うが同じ世代と考えを共有できてすごくいい時間になりました。	四国大・経営情報学部・4年
10	徳島にある文化の良さを知り、国内外へ伝えていくことの大切さ、地域の特徴を知り、活かしていくこと、変化を加えることで過疎地を変え、地域を活性化させることができることを学べた。何かを行うために考えるだけで無く主体的に動き出すことが必要だということを知った。	四国大短期大学部・人1年
11	社会に出てからの学習が勝負だと知ることができた。	文理大・総合政策部・1年
12	具体的な話が聞けたこと	文理大・総合政策部・1年

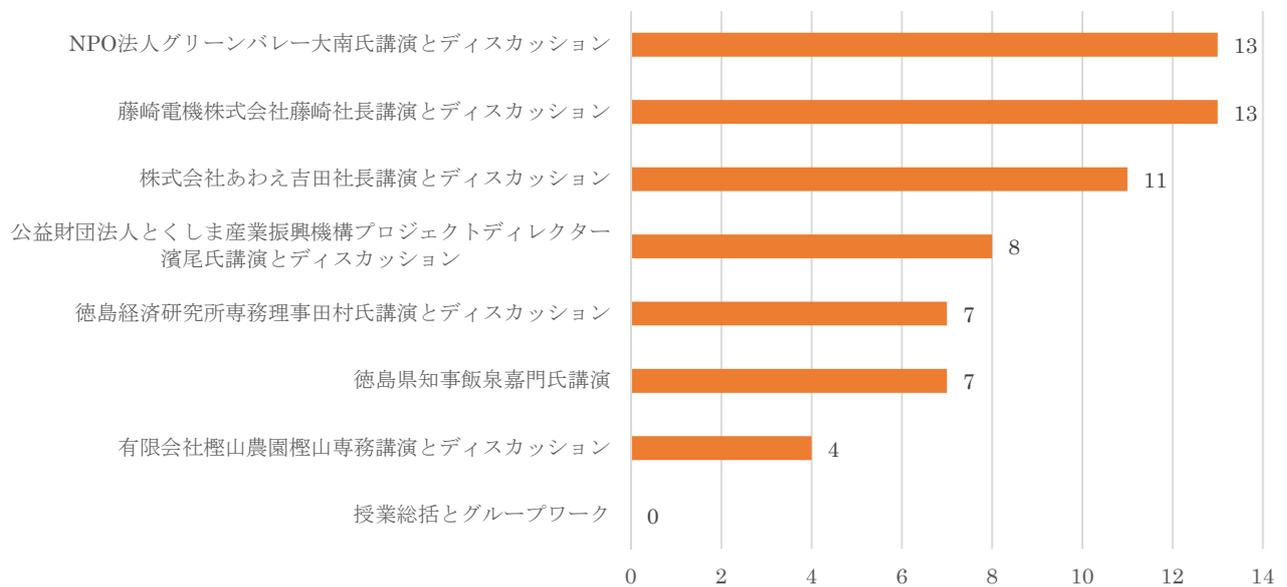
質問8 この授業について改善してほしいところがあれば記述してください。(抜粋)

受信環境について	映像の画質
	ネット中継の途中で途切れてしまったところ。
レポートの構成について	小レポートの間が全て同じだと毎回書く内容が同じようになるので、毎回問を変えて欲しかったです。
	全体的に講演内容はよかったが、4日間同じ内容のレポートで書きづらかった。
講演、パネルディスカッションの内容について	映像がとまったり切れたりしていたところ。講演の話の中に徳島県で働いたり経営したりするメリット・デメリットの話が無いこともあったところ。本当にないのかもしれないが、徳島で働くデメリットの話がほとんどなかったこと。
大学間の交流について	地域リーダーにもっと多くの質問ができるようになればもっと学びが多いかもしれないと思う。難しいのかもしれないけれど、直接会って話して得られるものは、インターネットなどからのものより、多く濃いと考える。
	ずっと座って聞くだけなのもったいなかった。直接色んな人と話をしてみたかった。
	中継での授業は声が聞こえにくく、何を喋っているのかわからないので、この開場であるべく講演して欲しいと思った。

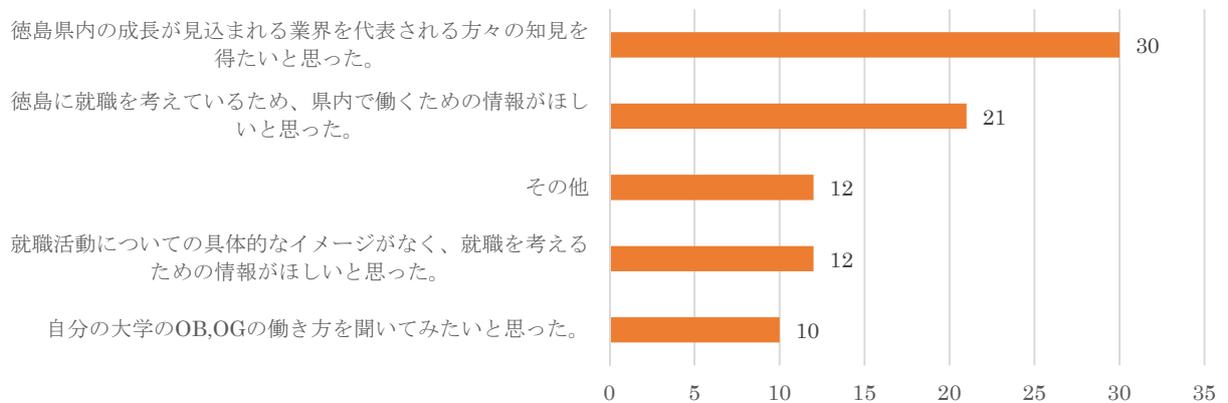
② 一般参加者



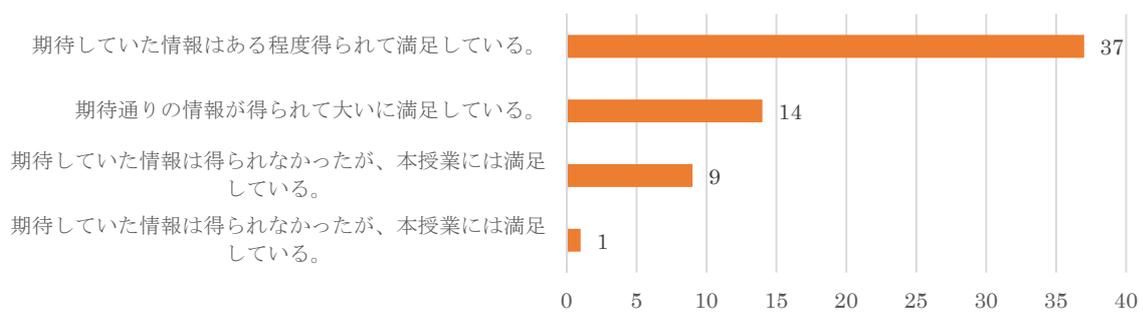
質問2 今回の共同授業では何を受講されましたか？（受講されたカリキュラムを全てお答えください。）



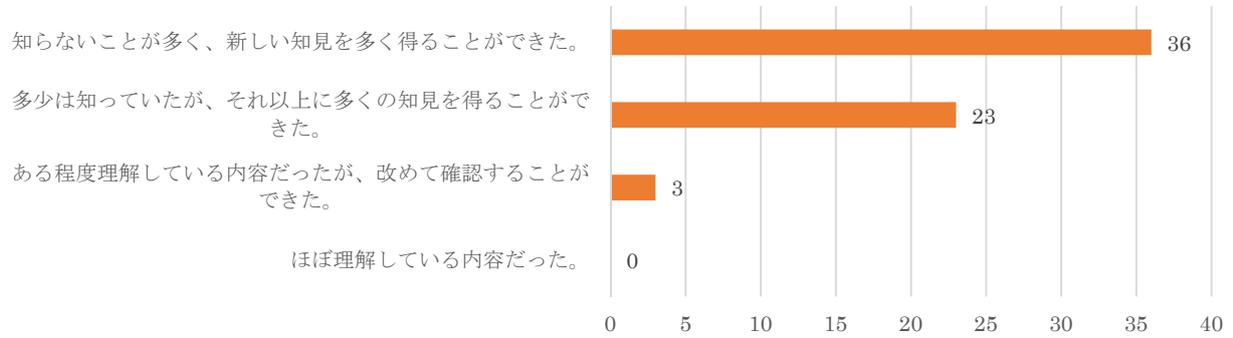
質問3 今回の共同授業にどのようなことを期待して参加されましたか？（複数回答可）



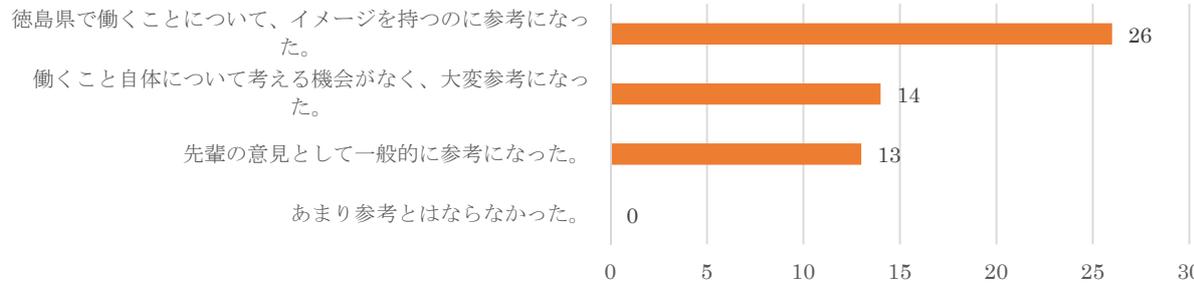
質問4 質問3で回答された目的について、期待されていた情報は得られましたか。（1つを回答）



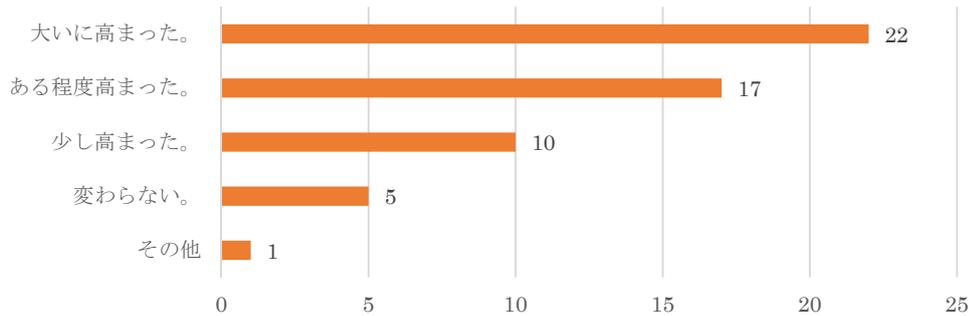
質問5 この共同授業を受講して、徳島県の産業的な強みや特徴についてどのように感じましたか？（1つを回答）



質問6 この共同授業を受講して、徳島県で働くOB,OGの話は将来を考える上で参考になりましたか？（1つを回答）



質問7 この共同授業の受講前と比較して、徳島県で働くことへの関心は高まりましたか？（1つを選択）



質問7 この共同授業について特によかったところを記述してください。(抜粋)

実際に徳島で働いている人の様々な意見や見方を知ることができたところ。	富岡東高校・3年
実際に徳島で働いている人の具体的な話を聞くことができてよかった。今まで知らなかった徳島のことをたくさん知ることができた。	富岡東高校・3年
大学生の方と意見交換をできたことが新鮮でとてもよかったです。	富岡東高校・3年
これからの働き方や人生について考えることができてよかった。	城北高校・1年
徳島大学からの質問だけではなく、四国大学、文理大学からの質問も聞けてよかった。	城北高校・3年
高校等、今までにも徳島についての講演を聴かせていただくことがあったが、それよりも深く内容を知ることができ、全体的によかった。	城北高校・1年
実際に働いている方々のお話がリアルに聞けて、現実味がありました。	城北高校・1年
徳島が抱えている問題を知ることができて、将来自分ができることを考えることができたところ。	城北高校・1年
OBOGの仕事へのしっかりとした取組姿勢が感じられた	徳島工業短期大学・職員

質問8 この授業について改善してほしいところがあれば記述してください。(抜粋)

受配信の環境について	中継の画面の画質が荒く見えにくかった。
	通信の精度をもっと上げてほしい。
	ディスカッションのときに拝聴者の話し声が入ることがあった。ディスカッションのときにスライドが見えない。
講演、パネルディスカッションの内容について	企業側として、どのような学生を求めているのか、OBOGは就職しあつときから今までどんな苦勞をしたか、あるいは目標としたか。
	質問するコーナーが少なかったので増やしてほしい。

8) 振り返りと今後の運営について

来年度以降の実施について、コンセプトは変えずに講義内容、講義の質、インフラ、連携等についてどのように改善をはかっていくべきかについて意見をとりまとめた。

	反省点	改善案	今後に向けての提案
講義内容	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの学生は、パネルディスカッションの話だけを聞いて全体像を理解するのが難しく、せつかく聞いた話が流れているようだった。 ・受講者数が少ない中で、毎回同じテーマのグループワークを行っても議論が同じになり深まらない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・講演内容の概要をパネラーに配布し、その内容に沿って話すようにしてもらおう。 ・講演内容とパネルディスカッションの内容をリンクさせる。 ・グループワークの内容を毎回変える。 ・次年度以降、少しでも多く受講生が集まるよう、シラバスの開示と受講登録を3月中に行う。 ・講義のどんなポイントに注目して聞かかかわるような、資料や記入用紙等を配布する。 	<p>学外の成功者の講演だけではなく、基礎知識となる政策や制度、徳島の経済などの理論的な話を取り入れる。</p>
インフラ	<ul style="list-style-type: none"> ・実施会場で音量の配慮。 ・Ustreamは、CMが入ったり、タイムラグがあったりして信頼性に乏しいと感じた。 ・講義中に動画が使われると、サテライト会場では全く見えない。 ・準備の進め方について、映像や音声が一時間止まったこと、またこれについてのフォローアップが十分でなかったこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安く、速度が保証されるネットワーク環境を調査する。 ・ポリコムやスカイプなどの対応策を講じるとともに、複数回線を使用できるように環境を整える。 ・バックアップへの切り替え。 ・事前に動画ファイルの再生のタイミングを打ち合わせる。 ・全ての映像について、他会場の受講生向けに、後日、ネット上で受講できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・インフラの使用に慣れておく。 ・本番と同程度のテスト（全拠点・配信時間）を遅くとも1か月前前に実施し、設備制約上の課題等を洗い出し、メインでの配信方法のトラブル発生時を想定した、サブの配信方法（への切り替えルール決め（何分停止した場合など）作業のリハーサル、その際に想定される拠点での動きやルールを設定しておく。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・8月のお盆明けの実施は、夏期休業中のご真ん中に当たるため帰省中の学生が多く受講生が少ない。 ・折角の共同授業も各校に分かれて行ってはあまり意味が無いように思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・8月上旬か下旬もしくは9月上旬に実施する。 ・初日の徳島大学に集まったようにもう少し共同で行う機会を増やす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の学生を徳島大学（もしくは四国大学・徳島文理大学）に集め、サテライト会場を県南部や県西部におき、そうした地域の出身学生や高校生・一般の方もサテライト会場から受講できるようにする。 ・授業外学修の時間の確保。

